

市長が日本聴導犬協会の東京支部（横川町）を訪問 ～聴導犬・介助犬育成の現場を視察～

令和8年（2026年）1月29日（木）、市長が社会福祉法人日本聴導犬協会の東京支部（横川町）を視察しました。

当日は、協会スタッフや聴導犬ユーザーからの日々の訓練や利用者の生活改善に関する説明に熱心に耳を傾けたほか、聴導犬と介助犬のデモンストレーションも見学し、聴導犬等の存在が障害者の生活のサポートはもちろん、心の支えにもなっているということを改めて実感しました。

なお、日本聴導犬協会は長野県の本部の他、八王子市の東京支部と芦屋市の関西事務所を拠点に活動しています。

- 1 日時** 令和8年（2026年）1月29日（木）午後1時30分～2時10分
- 2 場所** 社会福祉法人日本聴導犬協会東京支部（八王子市横川町772-12）
- 3 参加者** 協会会長、スタッフ、聴導犬ユーザー、ボランティア、支援者
- 4 経緯** 八王子市が第46回八王子いちよう祭りで「しゅわしゅわひろば」を出展した際に、同協会の協力により聴導犬や介助犬のデモンストレーションを実施。同協会が以前からユニバーサル駅伝など、市内のイベントへの参加実績もあることから市長が関心を持ち、視察が実現。

5 日本聴導犬協会概要

聴導犬及び介助犬の育成を通して、障がいのある方との「共感、協働、共生」により「障がい者の、障がい者による、障がい者のための補助犬育成」をめざす。

スタッフ数	14人（訓練スタッフや事務等）
ボランティア	50人（掃除、フードづくり、事務、イベント手伝い等）
ソーシャライザー	18人（子犬育てのボランティア）
寄附者	1年間で延べ1,500人

<問い合わせ>

福祉部障害者福祉課長 櫻田 電話042-620-7479